

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和3年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	古平町エネルギー構造高度化転換事業	
補助事業者名	古平町	
補助事業の概要	・中心拠点誘導複合施設（図書館・地域交流・防災センター・役場の複合施設）に地中熱を利用した空調等設備を導入し、レジリエンス機能の強化、町内モデル施設としてエネルギー構造高度化・転換の取組み拡大を図る。	
総事業費	147,598,000 円	
補助金充当額	147,598,000 円	
定量的目標	・町内事業所再生可能エネルギーや省エネ設備導入施設数の増加：5 施設 ・住宅リフォーム補助金活用による太陽光パネル設置住宅数の増加：4 件	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	・地中熱利用空調システムの活用により大幅な省エネ化を図ることが期待でき、防災拠点施設となる中心拠点誘導複合施設のレジリエンス強化に繋がった。 ・平時から省エネ化を図ることにより、削減したコストを再生可能エネルギー導入の補助金等に活用し、地域の活性化及び産業振興に繋げることが期待できる。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	中心拠点誘導複合移設エネルギー利用高度化工事（第2工区）
	契約の方法	随意契約（デザインビルド）
	契約の相手方（間接補助先）	大成建設株
	契約金額（間接補助金額）	147,598,000 円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。